

平成16年度第2回県民活動審議会の概要について

1 開催日時・場所

平成16年7月6日(火)14:00～16:10 山口県庁議会棟第2特別委員会室(6F)

2 出席者

委員 樋口会長 安藤委員 斉藤委員 浦野委員 笹部委員 嶋津委員
ハート委員 中川委員 西村委員 西山委員 永田委員 福森委員
藤川委員 船崎委員(18名中14出席)

県 環境生活部次長、県民生活課長 県民活動推進室長ほか職員3名
ワザバ - 「やまぐち県民活動きらめき財団」藤屋副理事長

3 概要

(1) 会議概要

- ・「中高生ボランティア調査結果の概要について」、「山口県県民活動白書(平成16年版)の作成について」、「平成16年度県民活動促進期間の取組について」、「審議会委員の諸行事への参加等について」及び「指定管理者制度について」に関して事務局から説明を行い、委員から意見を聴取。

(2) 主な意見等

中高生ボランティア調査結果の概要について

- ・中学生では半数、高校生では8割がボランティア活動の取り組んでいないという結果を踏まえて、今後どうしていくかという視点が必要である。
- ・この調査結果をみると、「ボランティア活動」という言葉のイメージが生徒によく伝わっていないのではと思う。
- ・現場における指導者の育成ということを今後の方向性の中に盛り込む必要があると思う。
- ・大人が地域の中でボランティア活動といった県民活動を生き生きとやっていけば、子どもは活動する大人を見ながら自然と活動に参加するようになっていくと思う。調査結果の数字に見えないところでがんばっているところもある。
- ・大人が率先して活動し、そして子どもたちを巻き込んでいくということが環境づくりとして大事なことだ。

山口県県民活動白書(平成16年版)の作成について

- ・市町村合併の進展によるコミュニティ活動に関する記述をする必要があるのではないかと。また、県民活動を通じた自己実現という視点から、今後の県民活動についての方向性ということもコメントとして記述してほしい。

- ・ シニア世代については、生涯現役の推進という観点からいけば、自らの経験や技術を活かした県民活動の担い手であり、そういった方々による県民活動が社会の力を増す原動力になるという積極的な主張があったほうがよい。